



ツバメが巣を作ると、その家は火事にならないのは、本当なの

ツバメは幸運を運んでくる

昔から、ツバメは、田畑の害虫をとらえてくれる「益鳥」として、大切にされてきました。ツバメが多い田は、害虫が少なく、秋の実りが良くなります。そのため、家にツバメが巣をかけると、幸運を運んでくると思われていたのです。しかし、ツバメの巣と火事とは、何の関係もありません。ツバメが巣を作ると、いいことがあるという、言い伝えの一つです。

ツバメがのき先に巣を作ると、家の入り口などが、ふんでよごされます。でも、だからといって、巣を落としてしまうことはやめましょう。

ツバメと伝言

ツバメは大変身近な鳥で、世界中に、いろいろな伝言が残されています。日本でも、火事にならない、家のはんじょうする、安産のお守りになる、新築祝いのほめ言葉の中に、かならずツバメの巣がかかることを入れるなど、地方ごとにいろいろな伝言があります。

とにかく、「えんぎ」がいい鳥であることは、まちがいありません。「えんぎ」をよぶために、ツバメの巣だなを作ったりもします。

このような伝言が、あちこちにあるのは、春がやってきたことをツバメが知らせてくれるからでしょう。春がきた喜びを、ツバメに感謝しているのです。

(監修・今泉 忠明)

